



あづき

五



524
止
卷

告互

中津佐吉場
中津伊三郎

上利根
加中津
州國原

同

あゝ一人かく曰。拙者舊里小。今山椒を史とて
なふ人小幸。さ因とんせ。あの一のふくしう
まねと集る。抗面ハ驚のれうととどく。春さ
事ハ。又の勢も涙をあらは。拙者子れ親父を。
朝う喚と透るあ。内徒のものと責つ人バ。
そ苦くも小信うて。一季もまねなふ人病さ
けるものなり。人嚙馬ふもおくらとや。その
中幸抱強ふ。市とす。て勤新僕あり。我
を僕小同て曰。汝のこ人情なく。人をいの苛

る。近御小僧なり。あつたは孝と申して。
勤りしあつたは儀なり。苦勞小僧と申してや。
併しまた所謂わが。彼僕の日なる程苦さ
く。云々。一日の苦勞小僧とて。寐屋小
入まハ熟く寐入。夏小家の主人とあり。較多の
人と石をひ。衣舎に公の修めて。歎いと。歡樂
極まけり。起るばる。このあつた。朝。寝て
可貴せし。く。これ。さハ苦。これ。も。寐れハ又
大家の主人。夏中の歡樂。公の修めて。我中。
人間。苦樂ハ糾れ。索の。樂ハ苦の種。苦ハ

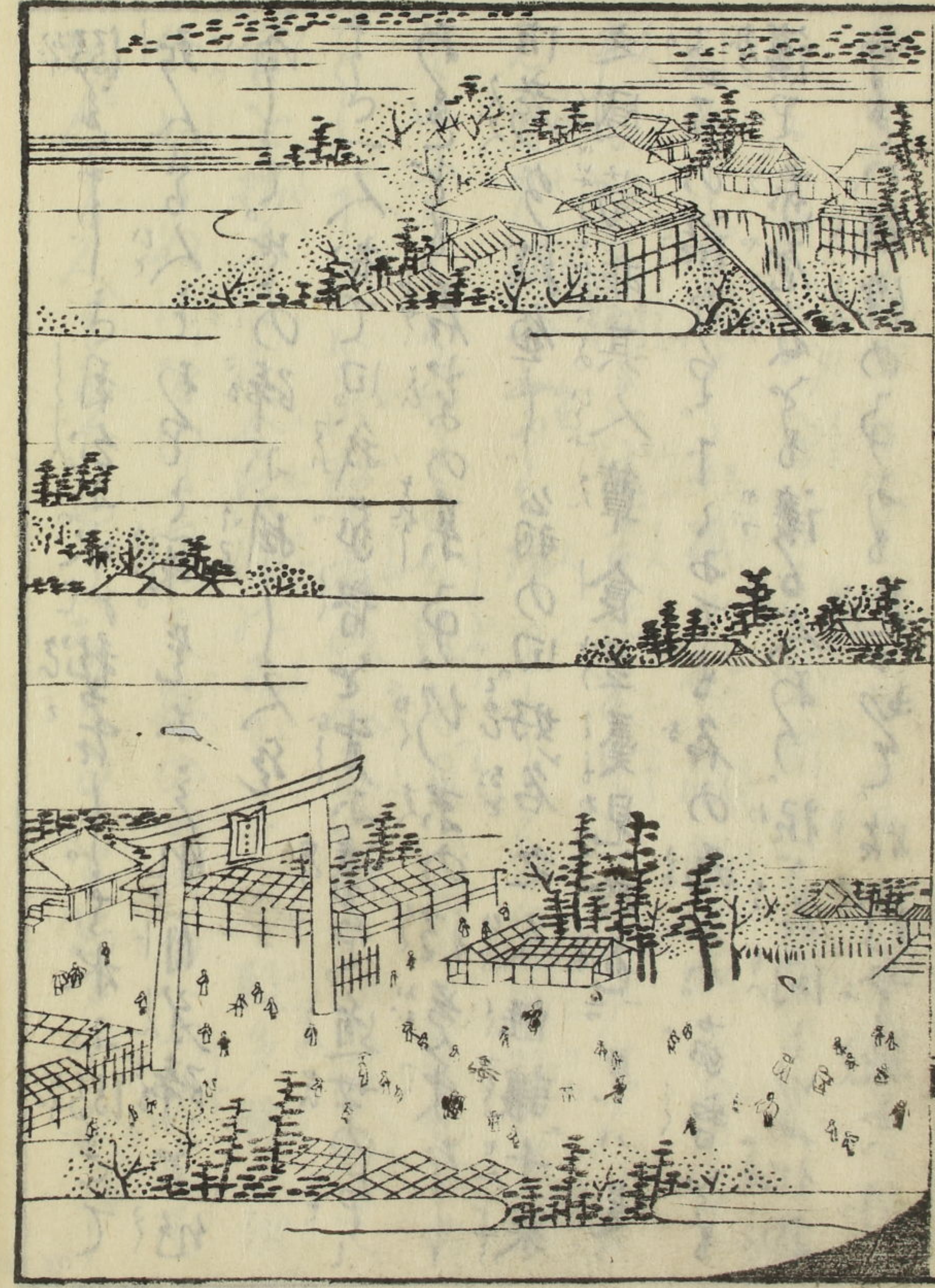
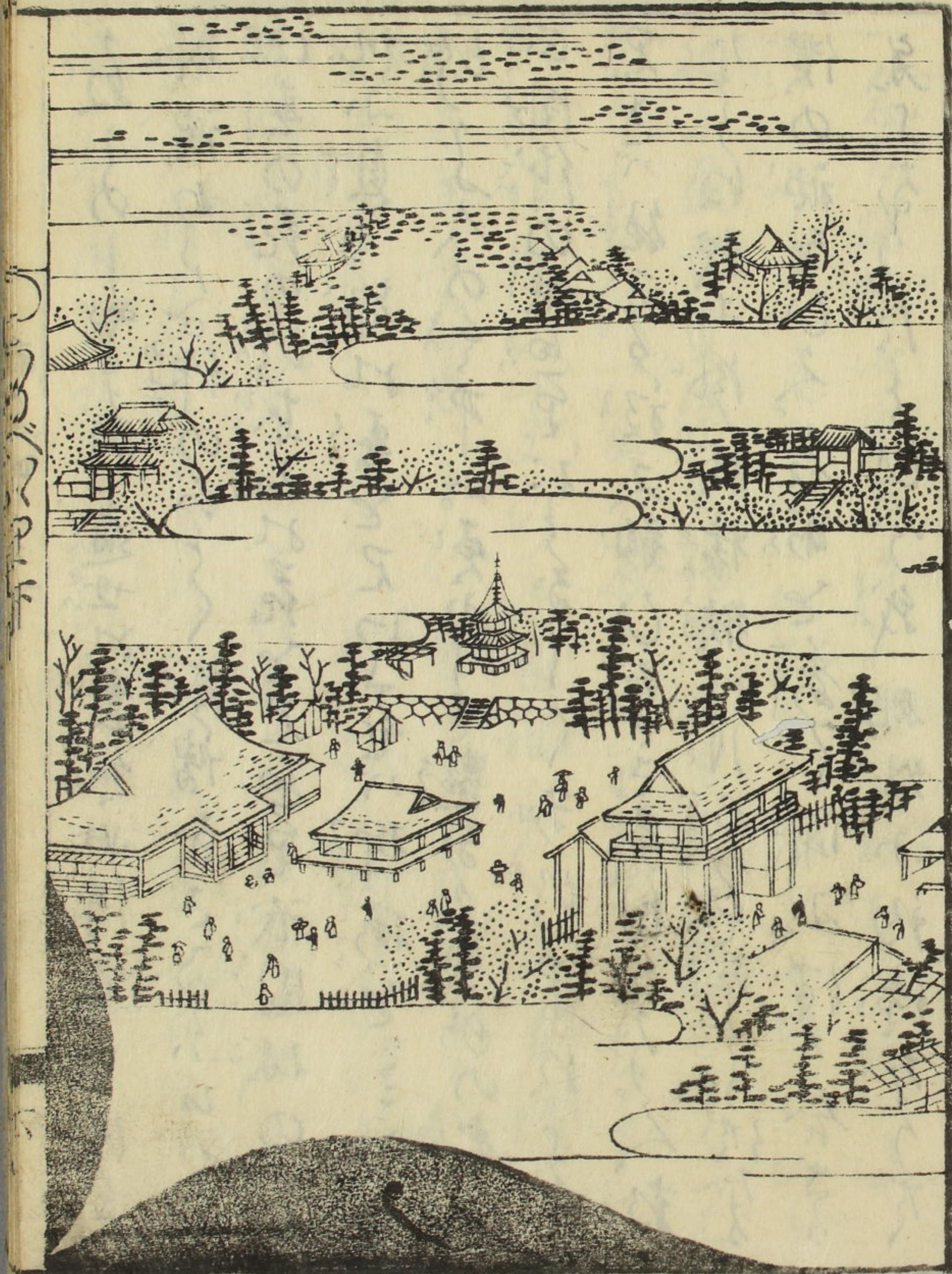
樂の種と云。叔或を食の。ある。吾とて。あつた。
の。人。小。ぬ。れ。さ。い。か。と。浮。世。ふ。か。と。曉。の。種。
去。傍。の。返。歌。と。て。か。と。て。何。く。これ。と。曉。の。
か。の。も。後。も。夏。の。浮。世。を。是。お。我。が。幸。抱。して。
孝と申する。而。仲。なり。叔。又。主人。の。さ。ま。どの。を。
室ハ。家。内。と。可。罵。り。朝。か。喚。き。て。責。つ。る。
一日。れ。草。刈。少。や。寐。入。ま。バ。人。の。奴。と。あり。夜。
と。可。責。せ。し。夏。中。の。苦。と。陳。も。
可。く。喚。牙。し。汗。し。叫。び。夜。い。と。止。と。そ。
苦。患。者。人。か。く。某。用。針。灸。祈。念。祈。禱。ある。

かたしとくども。文ふとの驗をうけり。かた
彼僕の云々ふハ。我が愛を申しれ。歡樂をとおしりて。
陳をきき。いつとなく。公の和をき。室の利を歎きうとく
なき。バ。夜の苦をし。が。止まぬと。ぬれ。是もも
利を歎きの。蹄をお。り。才をと。苦をし。む。人をい。う。ん。れ。
翁曰。利を歎きれ。蹄をお。掛けれ。人をハ。利の利を事を成す
知りて。利の換をる。事をと。知れど。を。ま。は。ま。治れの
殖をと。知りて。を。れ。瘦をれ。事をと。知れど。ま。
小利を大に換える。と。や
す。一人也。曰。或の婦人同じく。三人を洛陽の

觀を音をと。頂を礼をし。日を著して。蹄をの。か。り。つ。に。を。
石のあり。と。き。ひ。を。し。の。婦人。驚きく。腰をけ。連を
の。通をと。待を令をと。君をま。も。通をり。り。石を小に腰を
かけ。と。と。て。わ。笑をや。勿を祈をや。ま。ハ。異を驗を
あ。と。あ。れ。比をる。ち。と。足をが。障をても。瘡を
病を。氣を遠をを。腰をけ。胃をい。す。と。ぬ。大を作をで。ハ
何をと。と。は。く。小に祈を。同じく。二人をも。床をに。掛をり。
こ。も。小に腰をを。敬をて。公の内をに。お。託をと。や。連を立て
啼をり。石を小に腰を掛をる。婦人。俄に小に大に勢をに。け。り。
知れど。や。我がハ。六を通をの。能を化をなり。危をと。お。り。小に并を

かゝるに。我輩ハあてがふに。汝が罪咎を責け
世あてハ命と縮。未だハ地獄の苦患とけ。浮世
さふふと。いづど。あゝ不便や。信がや。虚言を
極と云作。隣近き寄集る同好とて。是にて
神々れ。借物とて。揺る。地獄小地獄。いふ人々。
彼不坊て。是れ。何でも。ある。唯の石なり。皆々
興さ。あふ。小地獄。かの婦人と竹輿。ふのせ。ま。彼
所小連。ひて。地獄。ふ。わ。ぬ。石。なり。を。い。く。う。と
又。せ。た。れ。だ。ら。ま。ら。契。さ。わ。ふ。れ。ふ。た。り。ぬ。是。ふ。ハ
未だ。といふ。蹄小地獄。て。ま。い。ひ。小地獄。と。云。う。人。

公孫の曰。かゝる類い。世ふ。ま。多。或書生。予
か。ら。う。う。あ。う。ま。書。生。の。舊。里。何。来。と。い。う
人。公孫。と。信仰。して。朝。暮。の。は。と。め。解。と。或。ハ
いと。旅。夜。通。た。と。ハ。高。声。小。讀。誦。して。其。の
守。護。と。せ。と。い。う。或。日。子。負。の。神。様。里。へ。出。て。
人。怖。強。う。う。あ。う。彼。何。来。も。通。り。掛。う。と。さ
ひ。ふ。才。と。隠。う。か。う。ま。う。う。ふ。公。孫。と。ま。た
ま。う。子。負。猪。の。癖。と。て。声。と。同。音。ふ。ま。う。の
あ。て。ふ。一。文。字。小。地。獄。ま。う。牙。小。か。けて。う。う。あ。う。
跡。も。た。と。地。獄。也。安。ん。と。や。あ。ひ。う。人。一。洞。子。



内八百あるは度下しきりきり。あひけなく、
 年小令。きく頂戴し。まげけり。とて。
 絶る。内ふ。東ふ。西ふ。されむ。れ得。
 久し。絶て。きり。きり。きり。きり。きり。
 皆。し。て。む。の。通。り。賣。買。ま。さ。し。れ。は。久。
 甘。ひ。の。八。候。小。砂。糖。子。飯。小。水。令。も。得。こ。も。須。
 祈。ふ。く。二。年。の。内。ふ。居。宅。も。さ。し。り。き。り。建。立。
 ぬ。け。上。六。被。婚。い。き。と。嫁。せ。さ。り。と。幸。小。媒。と。し。て。
 内。ま。と。聞。小。縁。ハ。い。か。よ。の。業。り。き。り。結。納。の。
 中。祝。云。の。祝。れ。儀。式。首。尾。き。り。嫁。小。名。御。

男。も。き。り。市。の。祝。ひ。結。文。に。子。と。男。子。と。
 子。の。夫。婦。れ。あ。い。き。り。人。の。き。り。髪。並。
 袴。着。た。ん。く。小。生。長。し。て。十。歳。の。き。り。
 二。つ。や。の。来。は。き。り。家。内。弟。外。き。り。お。目。
 む。き。り。光。る。江。巾。を。着。十。人。げ。り。盗。賊。込。入。
 内。後。の。者。と。ゆ。き。り。結。り。某。も。猪。鬚。う。き。り。バ。
 突。度。さ。き。り。さ。き。り。あ。き。り。女。房。と。婢。と。バ。き。り。
 縄。小。あ。き。り。内。徒。令。の。き。り。え。ん。と。可。噴。
 き。り。あ。き。り。は。き。り。正。体。も。ほ。き。り。外。の。き。り。な。き。り。
 き。り。北。き。り。と。や。ね。き。り。人。井。れ。内。は。き。り。き。り。

つりべり

新なり。夏も我より夏あわど。現も我を
現あわど。けし自得せ。道世といふはじ
右奇ふ。引候ふといふと何人よ山も浮世の
かかすバこ我

まゝ一人出て曰。ぬく世ふハあるある留もある
そのうね。或所のあぢ店ふ。金銀数多取致し
みと見て。彼男はうくうと。金一握とほんで
出た。店の人く。捕へ。礼か。ま盲を。げんが
同ふ見くぬ。夜空ぐものぬ。いやや不審
用を盗人か。令とて店へ。実致せば。なこ

かげふとを。私より盗人か。す。
盗もさうなハかけきども。今日金子入あかけん。
跡も先もけぬあり。何卒。金子入あうせぬ。
ややくとれり。矢先この店のうきとて。
傍ふ人の指も見て。夜空ぐものぬ。金もつうど。
金ふと金もつうど。面目もなこは仕合。まけ
し。免れぬ。赤恥ひいて帰る。今ふ
金と金もつうど。人のまぐ同ふくぬの。あうき
知まぬのといふ。愚のまぐ愚なり。おら。どや
おれ。是ハ一白。跡も葉も。くらぬ人。どや。ま

遠し。室れ山ハ何ふ。面く固有れ。妙の玉。
 是と室の山と知。でまねぐり。と室と。ひ。
 室小圓が。れて。依り室と。り失。是と室。
 の山小入。な。と。い。く。と。い。是。おハ。
 とも。田枕と持。を。捨。己。小。と。國。り。
 所持の。よ。田枕。時。小。随。ひ。種。を。知。り。く。と。と。
 耕。一。島。と。培。て。是。の。と。知。り。時。ハ。五。穀。
 成就。天下。を。平。これ。田。か。れ。山。と。い。あ。
 海。一。人。出。一。れ。て。日。中。教。示。ふ。り。舎。才。す。は。
 去。り。教。生。お。止。老。母。と。と。と。兄。才。と。も。皆。く。

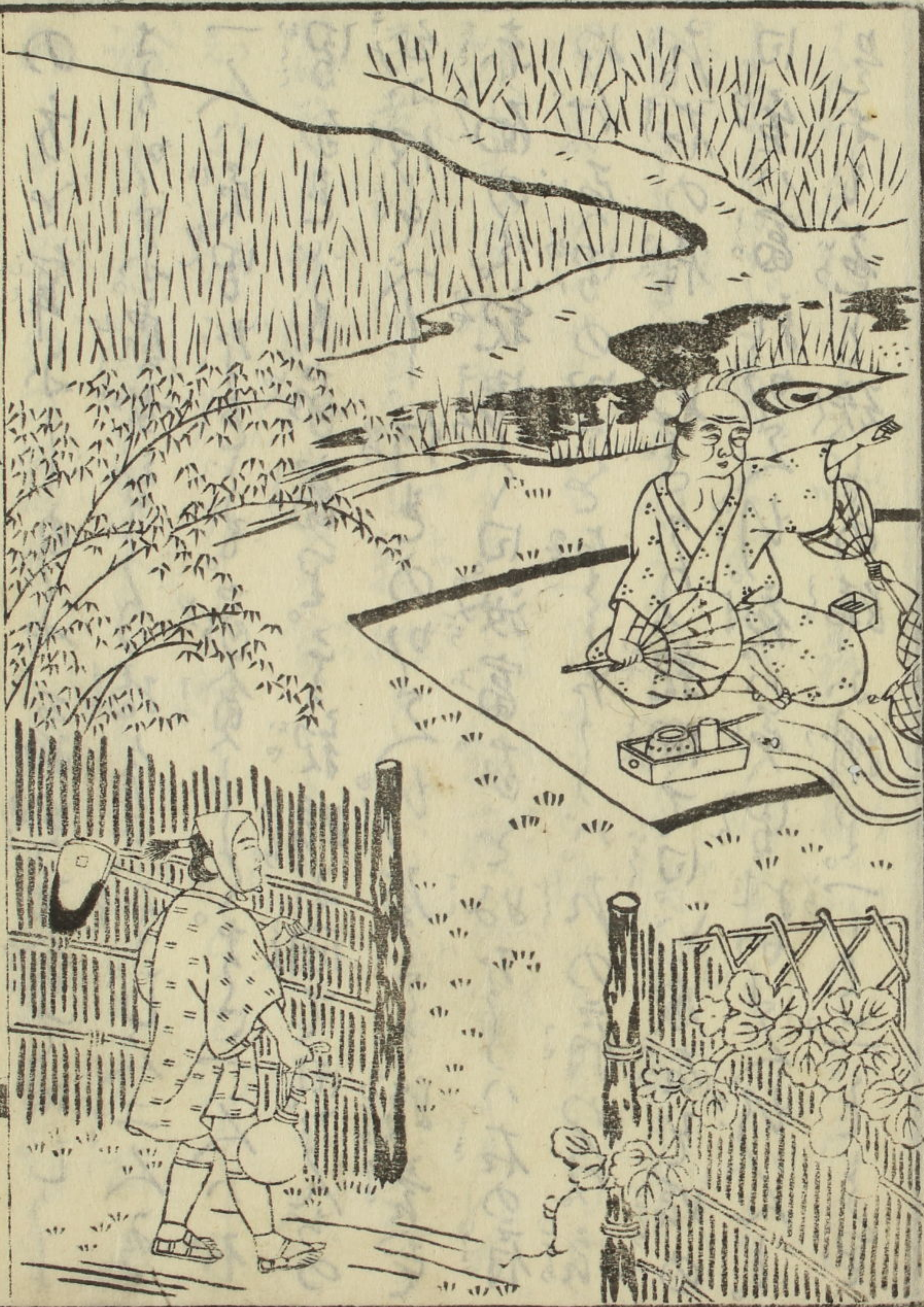
安。此。の。を。一。れ。は。以。彼。等。交。違。固。土。お。り。て。
 咄。と。聞。ふ。我。く。細。ハ。ち。と。若。者。ハ。村。ど。飼。ふ。
 魚。と。種。ど。ち。と。是。聖。人。も。和。さ。れ。種。と。魚。ハ。
 人。も。す。り。ち。皆。お。り。て。貴。賤。も。さ。は。是。と。
 其。の。教。中。お。り。と。魚。ハ。人。の。よ。あ。ふ。け。と。
 その。た。ま。は。人。捕。ど。喰。ず。ん。は。是。ど。す。と。れ。教。生。
 かな。と。か。の。ま。が。得。て。お。り。け。て。す。と。種。お。喰。
 は。く。お。種。被。が。日。の。お。病。あり。何。卒。再。發。せ。
 ず。は。瘰。癧。治。は。考。一。の。り。と。公。孫。の。曰。む。一。あ。
 先生。今。今。身。れ。と。と。と。天。の。人。お。種。り。

大イなり教せど。先引もいふ通り。登も教ふぬ
 程の人をも。覺へど教せらるるれわつとのなり
 此用にく。○禁教生婦人経候の中お交合し。
 とく懐妊すりとさハ。そ子かゝど。癩病ふなり
 とりある。古書おもてく。人これく。おはぬぬの
 りなまじも。めで田舎れ男女おあど。おさる人も
 わん。まお記と。婦人れ経水と懐まじて
 交す。その血止と懐胎セバ。そ子かゝど。癩病と
 なん。そ我子癩病お成なバ。親先祖の節
 同とけ。一類の顔とさ。是大イなり教せ

あり。ぬき。癩病らいびょうふなり。も子れ一生。悲ハ
何なんわん。も子れ一生而已のみなり。も子孫そん
も血けつと傳つたへ。も悲かなと傳つたへ。大たいなり。教しやく生せい
なり。ぞや。ふく孫そんふ愛あい目めと教しやくせ。も教しやく生せいふ
誰たれなりぞと。怯おそそも怯おそむじ。母はは見て。母ははぞ。
又一人出でて曰いふ。某またの存ぞん念ねん。所ところも同おなく。高賣かうばいも
同おなく。高賣かうばい。齡よいも同おなく。齡よい。力ちから能よく。孫そん方かた
なきふ。貧福ひんふく同おなく。かゝる家いえあり。西家さいか貧みく。
東家とうか富とみ。予よも東家とうかふけ。同おなく。えと何某なんがと。
町も同おなく。河が。家業かぎふも同おなく。家業かぎふ。齡よいもす。

何ド以て。才能も。徳も。徳者。是れ也。然るも。西家の
貧しく。是れハ富也。何の不同あるや。かくれ。と
まや。東家の之。異あり。い。人ハ賢者あり。
利鈍あり。せら。い。今れ。世の中。也。智人ハ
徳といで。ハ。是れ。徳の者も。出来ぬ。何れ。角も。同
り。あり。貧富。同。い。か。ど。ハ。進退。疎忽。千万
なり。是れ。不。等。量。と。い。ハ。云。れ。ま。し。と。一。本
さ。と。く。進退。あり。後。ま。西家。ハ。同。
と。元。と。何。某。と。而。も。同。と。而。家。族。も。同。と。家
族。年。も。同。年。也。才能。も。ま。優。者。也。と。也。不。

と。元。ハ。東家。より。早く。起。進。く。麻。也。業。の。勤。ハ
徳。と。い。も。衣。類。法。道。具。著。し。と。東家。ハ。是
進。者。也。と。是。ハ。い。て。る。と。さ。ハ。却。て。富。む
徳。と。苦。なり。ハ。貧。と。い。ハ。成。り。と。西家。ハ。い
ま。と。い。我。も。知。れ。と。同。と。年。の。同。と。月。同。と
日。ハ。同。と。子。ハ。貧。家。ハ。子。あり。富。家。ハ
子。あり。同。と。年。の。同。と。月。同。と。時。ハ
同。と。同。と。業。碗。ハ。命。の。短。い。業。碗。あり。命。の
長。い。業。碗。あり。我。と。知。れ。と。い。は。い。と。我
と。氣。女。何。ハ。西家。ハ。嫁。を。東家。ハ。や。う。何。



是皆天なり。人のよくすれば報ふあふ。よくふ
ぜくともお遇は。お遇さる人とて下し。おのれ
を尊んたりと矜れ。はおい通を知る人あり。
いさ通を知る人。貪富盛衰も。我ちうの
たをれとあひ。飽まで人欲深さ。何ぞう
當ととも。欲おまう。患と招き。天とも怨を。
人ともむじ。自仍る。薄は。活べう。ぞく

又一人あり。曰。某は。以浪義。トア。とき。水と
擔て。南へ人あり。同伴なり。それ。先とて。嗚呼。
船義の津あり。波世の易。北なり。といふ。ハ

如何と同され。水も。浅ふ。成といふ。今一人の
同伴なり。それ。波世れ。か。う。さ。北なり。といふ。
と。如何と同バ。水も。浅と。せ。バ。といふ。予。け
務員と。附。子。侍れ。何事のか。人。困と。揚。ん
の。考。多。れ。べ。公。孫。の。曰。是。も。す。止。る。ゆ。を
し。く。保。して。え。バ。方。さ。ハ。仕。や。さ。い。水。を。賣。て。も
勝。た。ら。ん。父。母。の。人。を。賣。ふ。ハ。よ。う。人。を。又
波。世。ハ。志。が。い。水。も。浅。と。せ。バ。といふ。子。才。の
言。と。引。立。れ。ハ。よ。か。ズ。去。ち。ぐ。る。客。の。の
分。利。公。孫。ハ。難。と。易。の。間。小。遊。ん。ぬ。こ。こ。ハ

類せりゆれり。我もまじりかきやうへに
さうと宿いふ。主支障の挨拶。我はさう
お楽なうん。我おはす。けやう。寒い。お。暑いに
付。人と。お。苦。と。は。う。唯。苦。と。を。あ。の。ま。じ。り。
御。と。つ。う。ふ。こ。ゆ。り。入。る。や。ひ。き。ふ。お。お。も
ひ。け。ハ。丁。雅。も。お。も。け。お。ハ。を。け。ち。と。雅。と。ま
それ。ハ。は。を。す。バ。お。お。す。ひ。と。お。お。う。お。ま。ま。が。美
利。も。毛。海。代。仕。立。保。さ。う。南。と。換。な。さ。及。是
お。も。す。て。痛。く。も。な。せ。け。お。も。す。て。去。の。の。て。く
お。も。す。て。く。も。う。さ。さ。小。仲。お。り。冷。で。も。入。す。バ。

さう。さ。時。食。小。お。け。ハ。事。ハ。欠。を。上。藤。を。お。も
御。お。も。それ。ハ。い。や。と。も。お。醫。者。小。お。け。け。ハ。お。お。は
は。い。二。三。日。れ。兼。代。で。も。を。け。ち。れ。お。お。は。お。お。は
何。の。苦。と。お。お。飲。く。は。糸。と。時。の。換。と。お。り。ハ。
今。れ。換。ハ。却。と。利。を。望。と。お。く。利。の。附。着。利。を
で。ハ。商人。れ。お。ハ。お。ね。と。お。ひ。と。と。お。お。さ。て。去。さ。う
宿。い。ふ。愛。お。も。す。て。を。け。ち。の。お。は。る。お。お。の
挨拶。ハ。二。三。日。け。さ。ハ。俄。お。お。は。お。お。は。お。お。は
さ。の。利。と。お。お。お。れ。す。と。我。お。ハ。何。程。を。お。て。も
お。お。お。ひ。か。と。お。お。の。お。お。と。お。お。人。床。の。

巨魁のと。ゆへくると言せども。可愛と云う
丁推小者。裾の短しものと着く。夜、空の月
捨なく。言ふと言ふも、けしあひ。どうもさ
をふとあふとせぬ。夏と藤むの月、う
西くも、うちとくともども。あ、何卒あそ
か。を、うちれ仕やうあ、まじい。と、お、あま
ふ。常れ始末、何のなる。お、肉の者ふまじい。目や
肌目と云せまじい。あ。彼あも人れ子なりと。ハ
口癖ふと云せども。はむとあて、お、何れぬ。さ
う、さるなりと云ひさ。諸君子。は、両、おれ、換

る。何一人、あ、く、曰、君之視臣、如手足
則臣視君、如腹心、君之視臣、如大馬、則臣
視君、如國人、と、孟子れ、曰、い、や、あ、て、あ、の、人
あ、肉、れ、者、と、ふ、れ、あ、く、あ、り、い、子、の、ど、く、す、あ、
あ、肉、の、者、皆、と、人、と、親、の、ど、く、れ、ま、い、親、の、や
小、事、れ、や、と、い、う、人、肉、徒、の、者、と、雇、人、の、お
く、れ、ま、い、雇、人、の、ど、く、す、れ、と、さ、へ、肉、徒、の、者
と、か、雇、れ、人、の、れ、ふ、あ、と、れ、なり。是、皆、肉、徒
の、者、れ、水、臭、さ、ふ、い、わ、づ、て、う、人、の、所、居、臭
や、な、う、う。ま、あ、一、人、あ、く、曰、某、と、孟子、あ、て。

ちの事と内事と。主人何をせよ。曰く利
亦有仁義而已。たゞ一國の所主人に仁
あり。海をば。中へり。不及。ど。あ。く。れ。民。百姓
不至。れ。す。で。不。仁。を。知。不。義。を。知。を
思。ふ。事。所。仁。も。な。く。さ。小。治。れ。大。小。仁
を。さ。す。も。所。あ。と。と。と。通。り。一。家。れ。主。人。仁
を。さ。す。も。所。皆。是。と。思。ふ。い。ま。お。不。仁。を。知。を
知。合。不。義。を。知。る。ハ。せ。ぬ。を。お。し。つ。ま。く。家。治。れ。
と。い。う。人。利。欲。深。く。仁。義。の。を。わ。か。ら。な。い。ハ。家。内
皆。れ。と。思。ふ。い。不。仁。を。知。る。も。不。義。を。知。る。も。

不義なる賣買あても利を而も。徳なりと
れり。義不義と。争。せ。ば。唯。利。と。る。を。と
手。柄。と。さ。る。が。ど。あ。ら。ハ。利。同。さ。る。が。い。れ。た。
は。す。る。所。ハ。小。利。大。換。さ。る。人。ハ。主。人。で。我。方。小。利。の。所
主。人。と。思。ふ。は。い。く。も。代。り。く。丁。惟。小。者。小。者
す。と。面。く。我。方。小。利。の。所。而。す。る。が。あ。る。が。子。の
不。得。上。下。交。利。と。あ。ら。な。い。が。危。か。し。人。の。目。
諸。君。れ。作。り。と。通。り。直。本。の。義。ハ。直。く。曲。れ
本。ハ。義。も。曲。れ。さ。る。が。い。れ。く。末。治。れ。と。れ。を。吾
國。の。中。ハ。國。れ。所。主。人。の。中。ハ。家。の。中。ハ。家。の。主。人。又

[illegible]

寬政二庚戌年冬發行

救屋町
下丁

書肆

近江屋莊兵衛

二条通教屋町东入

山本長兵衛

同高倉東南角

八文字屋仙二良

京都

弘所

